

スペイン語スピーチコンテスト

外国語学部 スペイン語学科 梅崎 かり

2023年6月30日（金）、神奈川県みなどみらいキャンパスの米田吉盛記念講堂にて、外国語学部スペイン語学科主催（後援：神奈川県文学会）の「スペイン語スピーチコンテスト」が開催されました。このコンテストは、主にスペイン語学科生が日頃の学修成果を発表し競うもので、神奈川県外国語学部文化ウィークの一環として毎年開催されています。

コンテストには参加資格の異なるCategoria A（詩・物語の暗唱など）とCategoria B（自作のスピーチ発表）の2つのカテゴリーがあります。コンテストの入賞者には賞状と副賞が与えられます。今年はCategoria Aに1名、Categoria Bには14名が参加しました。

Categoria Aでは、Antonio Machadoの詩“Cuando sea mi vida”の暗唱が披露されました。Categoria Bでは、服のリサイクルや食品ロス、サステイナブル・ツーリズムといった資源・環境問題、人種差別、スマホの使用など、多様なテーマでスピーチが行われ、今日的な社会問題への関心の高さがうかがわれました。スピーチの後の質疑応答では、臨機応変にスペイン語でやり取りをする難しい課題に皆が奮闘する姿が印象的でした。

（神奈川県外国語学部HPの記事を一部転載しています。）

入賞のタイトル

Categoria A

審査員特別賞
Quando sea mi vida
(Antonio Machado)

Categoria B

1位
El cementerio de la ropa
衣服の墓場

2位
El racismo no es un problema ajeno
人種差別は他人事ではない

3位
El cannabis medicinal
医療用大麻

審査員特別賞
¿Se muere nuestra cultura?
文化がなくなるか..

観客が選ぶ特別賞
El cannabis medicinal
医療用大麻

入賞者の声

Shinki Kamata
“El cementerio de la ropa”
「衣服の墓場」

スピーチコンテストに参加するのは今回が2回目ですが、去年はカテゴリーAに参加しましたが、緊張のあまりうまく朗読が出来ず、悔しい結果になりました。今回のスピーチコンテストでは、去年の悔しい思いを払拭するためにいい結果が残せるようにひたすら練習をした結果、当日に自分がしたいようなスピーチが出来たので良かったです。今回の結果が今後、スペイン語を学習していく中でいいモチベーションにつながると思います。

スピーチコンテストに参加するには勇気が必要ですが、参加した分だけ自分のチカラになるので、迷っている方はぜひ参加してみてください。

Soul Kitsugi
“El racismo no es un problema ajeno”
「人種差別は他人事ではない」

今回のスピーチコンテストで、私は、人種差別問題に関してのスピーチを、私の好きなサッカーと交えて発表させていただきました。

我々日本人にとっては、なかなか身近に感じにくい

テーマだからこそ、今回の私のスピーチをきっかけに、少しでも人種差別について思いを巡らせる方が増えてほしいという望みもあり、テーマ設定に至りました。留学経験を活かし、練習、本番ともに、発音や抑揚も特に意識して取り組みました。スピーチコンテストに参加したことで、自分自身も、スペインやラテンアメリカ諸国の文化、時事問題などに、より興味関心を持つようになりました。

今回の経験を活かし、今後も意識的に海外の時事問題などに触れながら、スペイン語の勉強により熱意を注ぎたいと思います。人前で発表することも含め、多くの貴重な体験をすることができました。

Ichiro Shiroma

“[E]cannabis medicinal”

【医療用大麻】

今回初めてスピーチコンテストに参加して、すごく貴重な経験となりました。スピーチコンテストに出たいと思ったきっかけは、昨年先輩たちがスペイン語でスピーチしているところを見てかっこいいなと思ったことです。本番前日にリハーサルをしましたが、私が思っていたイメージとは違いました。途中でセリフを忘れてしまった、頭が真っ白になることが何回か起きたので、正直に言って心配でした。しかし本番は、最後までスピーチすることができ、質疑応答もしっかりと答えることができましたのでよかったです。人の前に立って、楽しむことができました。結果、3位と観客が選ぶ特別賞を受賞してすごく嬉しかったです。もしスピーチコンテストに参加するかどうか迷っている人がいたら、出たほうがいいと思います。

Sayaka Miyagi

“¿Se muere nuestra cultura?”

【文化がなくなるか】

今回初めてスピーチコンテストに参加する上で、せっかくなら日本の歴史や文化に関連した内容にしたいと思い、私が興味のある現代の日本の伝統工芸について話させていただきました。原稿を書くにあたり様々なデータを調べることで、これまで知らなかったことや浅かった知識を深めることができました。本番当日は緊張してしまい、振り返るともつとこうしなかったな、ああできたなという反省点もあります。しかし、大勢の前でスペイン語でスピーチを行い、それに関する質疑応答を最後までやり遂げられたこと、それを楽しむことができたことは、私にとって大きな経験となりました。

最後に、参加にあたり添削など準備を手伝ってくださった先生方、主催であるスペイン語学科の先生方、素敵なスピーチを行った参加者、当日足を運んでくださった皆様に感謝申し上げます。

スペイン語学科noteの記事はこちら

https://note.com/ku_spanish/n/r4fc46eacd1f

過去の学科アクティビティの体験記はこちら

<https://www.fl.kanagawa-u.ac.jp/spanish/>

<feature.html#activityreport>

文化ウィークについてはこちら

<https://www.fl.kanagawa-u.ac.jp/department/>

<week.html#spanish>

